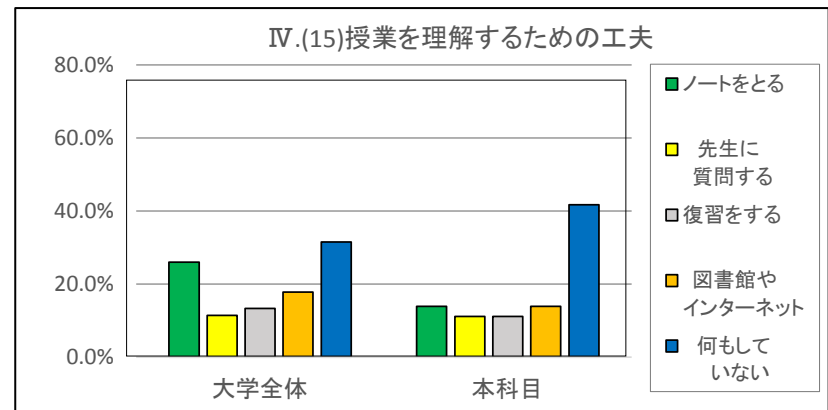


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	13.9%	11.1%	11.1%	13.9%	41.7%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.64	3.45
	I.(2)	3.69	3.56
	I.(3)	2.81	3.07
講義内容・方法	II.(4)	2.69	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.50	3.33
	II.(8)	3.44	3.42
	II.(9)	3.28	3.30
	II.(10)	3.69	3.23
	II.(11)	2.69	3.21
	II.(12)	3.50	3.48
	II.(13)	3.64	3.45
満足度	II.(14)	3.50	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.38	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.31	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.50	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	34108
科目名	書写・書道入門
教員名	小竹 光夫

①授業計画の達成度について

シラバスに掲載している内容に関しては、多少の順に入れ替えはあるものの、ほぼ達成している。ただし、新学習指導要領に関しては、未だ手が付けられていないのか実状である。こんご扱いの在り方について検討したい。
問題は、学生自身がシラバスを参照しておらず、毎年のように単なる実技と誤解している部分があり、理解度が深まらないという問題点が残っている。

②授業の進め方について

前任の大学で、「授業が充実しないと先生は苦勞しているが、気にする必要はない。何をしようが聞く気のない人間がいる」という学生コメントがあり、かなりの衝撃を受けたが、そのような学習意欲が乏しい学生が散見されるようになった。
講義だと寝てしまう。演習だと人任せにして参加しない。悪循環の中で腐心しているというのが実状である。何をにおいても学習態勢作りだと感じる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

教育学部の授業は細分化し、そして輻輳している。そのため、可能な限り予復習がなくても1時間の中で習得し、定着できる内容をと考えている。そのため、授業アンケートでの「授業時間外での学修」が低評価であることは、当然のこととして受け止めている。